

平成28年度

平成28年4月28日

学 校 だ よ り



夢に近づけ 今、鴨居がいいかも！
横浜市立鴨居小学校

電話 045(931)2062

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

防災(減災)教育を考える

校 長 石原 敏宏

新学期が始まってひと月あまり、子どもたちは新しいクラスや先生にすっかり慣れてきたようです。先日の授業参観・懇談会には多くの方々においでいただきありがとうございました。お子様の学習の様子はいかがでしたか。学校では5月28日(土)の運動会に向けて、それぞれの競技や演技の練習に入りました。また、リレーの選手や応援団員、鼓笛隊のメンバーも決まり、少しずつ運動会ムードが盛り上がってきています。

さて、日本中を震撼させた14日夜の熊本県での地震から更に大きな地震が起き、その後も余震が相次ぎ、多くの方が亡くなったり家が倒壊したりしました。被害の大きさを映像で見ると、地震の恐ろしさと、その爪痕の深さを痛感します。

東日本大震災からまだ5年しか経っていないのに、また大きな地震が起きてしまいました。関東地方でもいつ大きな地震が起こってもおかしくない現状だと、専門家の方々がコメントされています。とても他人事ではありません。

私は地震の避難訓練のときに、子どもたちに次のような話をします。それは、日本は地震が多発する国であること。皆さんが生きている間にも大きな地震が何回も起きること。その時に被害に合うか合わないかは、地震が起きた時に、皆さんがその場に住んでいたり居合わせたりしたか、そうではなかったかの違いだけだということ。だからこそ地震があったときに、どうすれば身を守ることができるのかを、日頃から学んでおく必要があること。また、大きな地震や災害が身近で起きてしまった時にはどうしたらよいのかを、予め家族で決めておく必要があるということなどです。ぜひご家族でも、災害が起きてしまったときにはどうするのか、家族の決まり事を話し合っておいていただきたいと思います。

昨年度、本校を防災拠点とする鴨居1・4丁目の防災訓練に参加させていただきました。自治会の担当者の方々は、実際に起きてしまったときのことを想定して訓練の準備を進めていられました。東鴨居中学校の生徒も加わり参加者は多かったのですが、小学生の参加はそれほど多くはなかったと記憶しています。ご家族での参加がもう少し増えれば良いのにと感じました。

学校でも防災(減災)教育として、地震や火災等を想定した避難訓練を定期的に行い、子どもたちはその都度真剣に取り組んでいます。いつ起きるかわからない地震や火災に対して、身を守る術を身につけるためには訓練を重ねるしかありません。小学校で学んだことは、中学生以降も忘れずに身につけていくものと思います。日本に住むということは、地震は避けて通れないものだとは思っています。防災(減災)教育の第一歩を、小学生の内にしっかりと身につけさせることも学校の大切な役目だと改めて感じました。